

千葉大学病院にて大腸癌および大腸癌肝転移の手術を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年7月11日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では「ING5 (inhibitor of growth protein 5) というタンパク質が大腸癌の進行や抗がん剤治療が効きにくくなることを防ぐ働きを明らかにする」というテーマで研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2003年1月1日～2024年3月31日の間に当院で大腸癌および大腸癌肝転移に対し手術を受けられた方

1. 研究課題名

「^{アイソジ-}ING5 による ^{だいちょうがん}大腸癌の ^{しんてん}進展、^{てんい}転移および ^{かがくりょうほうていこうせい}化学療法抵抗性に対する ^{よくせいできせいぎょきこう}抑制的制御機構の ^{かいめい}解明」

※ING5 (inhibitor of growth protein 5) は人体において細胞分裂を調節する働きを持つタンパク質の一つです。

2. 研究期間

2024年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

大腸に癌が発生し進行していく過程は、多くの研究が進められていますが未だに解明されておりません。また、同じ大腸癌でも進行速度やリンパ節や他の臓器への転移のしやすさが異なり、癌の悪さには色々な要素が関わってきます。

一般に他の臓器に転移がみられる癌は進行しており、大腸癌も同じことが言えます。肝臓は大腸癌が転移しやすい臓器であり、大腸癌の進行度を考える上で重要な要素です。しかし、大腸癌が肝臓など他の臓器へ転移する過程でのメカニズムはいまだ不明な点が多いのが現状です。

大腸癌の転移の過程を解明することで、それらを応用した治療薬の開発に役立てることができ、大腸癌が今まで以上に治る可能性を高くすることへつながると考えられます。

ING5 は人体において細胞分裂を調節する働きを持つタンパク質で、癌に対しても癌細胞が増えることを予防すると考えられています。これまでに肺癌や卵巣癌、胃癌などで癌の進行を抑える働きがあることが示されていますが、大腸癌における ING5 の働きは明らかになっていません。近年、我々のグループでこれまでに研究してきたタンパク質 (YY1) と ING5 が関連して働くことで胃癌において癌の進行を抑えることが報告され、大腸癌においても同じように働く可能性が考えられます。

以上の様なことを背景に、本研究では大腸癌における ING5 の働きについて明らかにしていきます。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2003年1月から2024年3月までの間に当院において、大腸癌および大腸癌肝転移の手術を受けた方の、診療録に記載されている性別、年齢、人種、身長、体重、BMI、体表面積、病歴、血液検査値、診断、当科で行った術前、術後の検査、治療の結果、手術の方法、合併症、治療経過、生存期間等について調べます。

診療目的で得られた残余検体を用いて ING5 の発現の程度など、がん細胞の特徴について検討します。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者 肝胆膵外科 教授 大塚将之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL

<http://www.chibau.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

医師 大塚将之、酒井望、船津悠也

043 (222) 7171 内線5286